

角野隼斗
with
(ピアノ)

新日本フィルハーモニー交響楽団

佐渡裕
指揮

新音楽監督“佐渡裕”が贈る
新日本フィル白熱のチャイコフスキー
進化し続けるピアニスト
角野隼斗と待望の競演!!

チャイコフスキー
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
交響曲 第5番 ホ短調 作品64

2024年 6月1日(土) 15:00 開演
[14:15 開場]
ホクト文化ホール 大ホール
(長野県県民文化会館)

チケット料金 (全席指定 / 税込)
S席 11,000円 / A席 9,000円 (U25: 4,500円)

※U25(アンダー25)割引は、25歳以下(公演当日時)の方を対象に枚数限定で販売するものです。
必ず公演当日に生年月日を証明できるものをお持ちください。
※U25(アンダー25)割引チケットは、テレビ信州チケットセンターのみで販売します。

主催 | テレビ信州 共催 | 一般財団法人長野県文化振興事業団

特別協賛 | 大和証券グループ

一般発売 3月9日[土] 10:00~

プレイガイド

WEB テレビ信州チケットセンター <https://e-shinshu.jp>
イープラス <https://eplus.jp>

窓口販売 ホクト文化ホール 026-226-0008 (休館日を除く 9:00~17:00)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車いす席をご希望の方は、
事前にテレビ信州チケットセンターへお問い合わせください。
※止むを得ない事情により曲目・曲順が変更となり場合がございます。
※駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ | テレビ信州チケットセンター
026-225-0055 (平日 10:00~18:00)

ドラマティックな音世界に期待!

佐渡裕と角野隼斗のチャイコフスキー初共演

道下京子

音楽評論

佐渡裕が新日本フィル音楽監督に就任後、初の全国ツアーが敢行され、チャイコフスキー作品のなかでも、最も人気の高い《ピアノ協奏曲 第1番》&《交響曲 第5番》が披露される。

ソリストの角野隼斗は「Cateen(かていん)」名義でYouTuberとして広く知られ、NYにも拠点を構えて活動の幅をますます広げている。明晰なタッチから繰り広げられる角野の音楽は、鮮やかに脈打つリズムとともに、気品の漂うサウンドと高貴な情趣に満ちている。

2人は2022年12月に初共演を果たし、互いに信頼できる確かな感触を得た。佐渡は「次はクラシックの王道的な作品で共演しよう」と持ちかけ、その場でチャイコフスキー《ピアノ協奏曲 第1番》に決まった。流麗なメロディと凛々しい表情を湛えたチャイコフスキーの音楽は、角野にとってもマッチしている。一方、情熱をみなぎらせ、バランス感覚にも優れた佐渡裕も、チャイコフスキーを非常に得意としていて、今回の豪華共演ではドラマティックな音世界を豊かなサウンドで聴かせてくれるに違いない。

左 佐渡裕

Yutaka SADO 指揮/音楽監督



京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。これまでバリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等欧州の一流オーケストラや、オランジュ音楽祭、トリノ王立歌劇場など海外のオペラ公演にも多数客演。現在はオーストリアのトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務め、2023年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団第5代音楽監督に就任。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した18枚目のCD「マーラー:交響曲第3番」を2023年6月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生~指揮者は時間を彫刻する~」(PHP文庫/新書)、絵本「はじめてのオーケストラ」<絵:はたこうしろう>(小学館)等がある。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

角野隼斗

Hayato SUMINO ヨハン



1995年生まれ。2018年、東京大学大学院在学中にピティナピアノコンペティション特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにポーランド国立放送交響楽団、ハンブルク交響楽団、ブダペスト・ドホナーニ管弦楽団、ボストン・ポップス・オーケストラ、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。さらにFUJI ROCK FESTIVALへ出演など、活躍の場はクラシックフィールドに留まらない。2020年、1stフルアルバム「HAYATOSM」をリリース、オリコンデイリー8位を獲得。最新作は、マリン・オルソップ指揮、ポーランド国立放送交響楽団とのライブ録音による「ショパン:ピアノ協奏曲第1番」。クラシックで培った技術とアレンジ、即興技術を融合した独自のスタイルが話題を集め、「Cateen(かていん)」名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数が120万人超、総再生回数は1億回を突破するなど、新時代のピアニストとして注目を集めている。CASIO電子楽器アンバサダー、スタインウェイアーティスト。

オフィシャルウェブサイト
<https://hayatosum.com/>

新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic

1972年、指揮者・小澤征爾、山本直純のもと自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に久石譲(2004年~)、久石は新日本フィルMusic Partner(2020年~)も務める。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト www.njp.or.jp
公式Twitter @newjapanphil
公式Facebook /newjapanphil
公式Instagram /newjapanphil

